

【テーマ8】 一般財団法人教員養成評価機構

「教職課程の内部質保証システムのモデル開発－自己分析とフィードバック－」

調査等の概要

◆課題認識

- ・教員養成機関が自己分析（自己点検・評価）活動を行うまでの過程に課題がある。
- ・教職課程の第三者評価を事業実施するには評価する側、受ける側双方に課題がある。

◆調査研究の目的

- ・教員養成機関を対象に教員養成教育認定基準の有効性と質向上の取組の実施状況を調査し、自己分析活動の推進に資する。
- ・自己分析活動の効果を高めるため外からフィードバックする方法を試し、成果を検証する。

◆対象

小一種・中一種教員免許状の教職認定課程を有する学部相当の教育組織

◆自己分析とフィードバック

自己分析により自己分析書を作成した2大学について次によりフィードバックを行う。

- ①推進会議メンバーと外部有識者で担当チームを編成する。
- ②自己分析書を読み込む
- ③機関を訪問し関係者と意見交換する
- ④コメントをまとめる

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

- 1 教員養成機関に対する自己分析（自己点検・点検）の提案（継続）、並びに教員養成教育の評価指標のあり方に関する調査の実施
1163件送付
調査回答160件

2 自己分析の普及

- ・教員養成機関を訪問して教職課程担当者と本取組の説明、意見交換を実施 3機関
- ・FD研修会へ講師出席（びわこ成蹊スポーツ大学、他は実施を中止）
- ・一般社団法人全国私立大学教職課程協会との連携

3 自己分析とフィードバック活動等の実施とその検証

- ・九州ルーテル学院大学人文学部
- ・京都ノートルダム女子大学現代人間学部

ほかに、教員養成教育認定基準を活用した岡山大学教育学部の外部評価視察

4 「教員養成教育認定評価開発研究推進会議」開催・期間中3回開催

※3月開催予定のフォーラムは中止した。

◆成果

- ・私立大学2大学のフィードバック活動を行うことで実施内容・方法を検証することができた。
- ・教員養成教育認定基準を活用した外部評価実施機関があった。

今後の課題

◆教員養成機関相互コミュニティによるフィードバック活動の実現

- ・本取組で推進会議メンバー等が行った自己分析書に対するフィードバック活動を教員養成機関が相互にコミュニティを形成しながら実施する方法をどのように実現していくか。